ツクランカー「あんぜん①」【活用案】

筑波大学附属小学校 教諭　辻 健

活動名　みんなの安全ツクランカー

1.番組活用のねらい

子供たちがいつも過ごしている学校にある危険を察知し、より安全に暮らすためには、今あるものをどのように改善していけば良いかについて番組からヒントを得る。さらに、番組視聴を契機に「安全」ツクランカーについての活動を展開できるようにする。

2.展開例（1時間目／15時間）

	子供の活動や発言例	教師の支援や留意点
導入 5分	**○教師の提示した写真をもとに、話合いを行う。** T：この写真を見て。 C：廊下に水がこぼれてる。 T：これを見て感じることは？ C：転ぶ人がいるかも、あぶない。 C：拭いた方がいい。 T：なるほど、危険を察知できて、安全にする方法を考えたね。	・廊下に水がこぼれている写真や曲がり角で急いでいる人の写真などを準備し、危険箇所について考えられるようにする。 ・発言を利用して、危険を察知できたこと、それを安全にしようと考えたことを称賛する。 ・他にもこのような例はないか、ペアで話したり、発言を促したりする。
番組視聴 10分	**○「あんぜん①」を視聴する。** ・なるほど、予知かあ。 ・安全は工夫で作ることができる。	・ツクランカー「あんぜん①」を準備しクラスで視聴できるようにする。 ・つぶやきは拾って板書しておく。
個人 10分	**○ワークシート①に取り組む。** ・もう一度番組を部分視聴したい。 ・これはどのシーンかな？ ※端末があれば自由に視聴が可能。	・ワークシート①を配布する。 ・記述できない児童には、右側の「番組では…」を参考にするよう伝える。 ・上半分が終わったら危険予知トレーニングシートに取り組むように伝える。
全体 10分	**○ワークシートに書いたことをクラスで共有する。** ・ぼくは掃除道具にしたよ。振り回すと危ないから。 ・私は曲がり角に危険があると思ったよ。	・児童がPC端末をもっている場合は、端末で記述を撮って共有してもよい。 ・記述したことをもとに伝え合う。 ・どこにどのような危険がひそんでいるのかを伝え合うだけでなく、そこに目を向けられたことを称賛する。
10分	**○学校の地図にみんなが見つけた危険をはりつけてみよう。** ・こうやって見ると、けっこうたくさんあるね。	・それぞれが見つけた危険を地図に見える化することで、個々の気付きを集団の気付きへと高めるようにする。

3.準備する物

・学校の地図　・ワークシート①　・可能であればカメラ（タブレットPCも可）
・番組が自由に視聴できるような環境があれば、ワークシート記述時の参考にする。
・危険予知トレーニングシート

4.活動にあたって（この授業に望むこと）

単なる危険さがしに終わらず、その場所や物がどのようなときに、どんな危険になるのかといった具体的な状況を推察できるように声掛けを行いたい。そのために、危険予知トレーニングシートや使う人の目線になって考える思考が役に立つことを児童が感じられるようにしたい。また、この時間の学習を通して「ものづくり」によって、危険な場所や物を安全にする意欲がもてるようにしたい。

NHK Copyright NHK (Japan Broadcasting Corporation). All rights reserved. 許可なく転載することを禁じます。